

<英文法超基礎プリント③⑦> Lv.★★☆☆☆ 対象:中2-3

①否定疑問文

「～しないのですか?」「～ではないのですか?」と否定の意味を含む疑問文を否定疑問文という。形は普通の疑問文に「not」を入れるだけ!

- ・ Isn't he a teacher? 「彼は先生ではないのですか」
 — Yes, he is 「いいえ、先生です」/ No, he isn't. 「はい、先生ではないです」
 → 答え方が、日本語と Yes/No が逆になるので要注意!
 答えの中身が肯定 → (1.) 否定 → (2.) となる!

- ・ Didn't you go to school yesterday? 「昨日学校に行かなかったの?」
 — Yes, I did. 「いいえ、行ったよ」/ No, I didn't. 「はい、行かなかったよ」
 肯定 ← 否定

②選択疑問文

ふつうの疑問文のあとに (3.) をつけると、「4. 」というふうな2つのうちのどちらなのかをたずねる文になる。答えるときは Yes/No を使わない。

Do you like [↑]dogs or [↓]cats? — I like dogs.

Is she a [↑]singer or an [↓]actress? — She's a singer. actress: 女優

(5.) を使って、表すこともある!

Which do you want, tea or coffee? — Tea, please.

「紅茶とコーヒーでは、どちらがほしいですか」 — 「紅茶がほしいです」

③付加疑問文

平叙文 [「～です」「～でない」の文] に、「6. 」と「念を押す」ときや「同意を求める」ときに文末に付け加える疑問文を付加疑問文という。

☆付加疑問文の作り方

A. 肯定文 + (7.) (短縮形を使う)

You are a student, (8.)? 「あなたは学生ですね」

Tom speaks Japanese, (9.)? 「トムは日本語を話すね」

B. 否定文 + (10.)

Mary didn't come, (11.)? 「メアリーは来ませんでしたね」

4 その他の付加疑問文のポイント

Kumi can speak English, (12.

)? — Yes, she can.

「クミは英語を話せますよね。」— 「はい、話せます」

I'm right, (13.

)? 「私は正しいですね」←「am I not?」とはあまり言わない

5 命令文

相手に対して「14. 」15. 」と命令したり依頼したりする文のことを命令文という。命令文は(16.)から文を始める!

①肯定の命令文: (17.)で始める。

・ Be quiet in this room. 「この部屋では静かにしなさい」

・ Listen to this music. 「この音楽を聞いて」

②否定の命令文: (18.)

・ Don't go there alone. 「1人でそこへ行くな」

= You (19.) (20.) go there alone.

・ 命令文の文頭や文末に(21.)をつけたり、終わりに(22.)をつけ加えると、「～してください」「～してくれませんか」と依頼の意味になる。

・ Please open the window. [Open the window, please] 「窓を開けて下さい」

・ Sit down here, will you? 「ここに座ってくれませんか」

・ 命令文の終わりに(23.)をつけ加えると、「～しませんか」と勧誘の意味を表す。

・ Play tennis together, won't you? 「一緒にテニスをしませんか」

6 Let's ~ の文

(24.)で「25. 」と勧誘の意味を表す。否定文の場合は(26.)の形になる。また、終わりに(27.)をつけ加える^{ことある}。

・ Let's play tennis. 「テニスをしましょう」

— Yes, let's. / No, let's not. 「そうしましょう」/ 「いや、やめておきましょう」

・ Let's not go out today. 「今日は出かけるのはやめよう」

・ Let's dance, shall we? 「ダンスをしませんか」